

「関西NBCニュービジネスアワード 2022」授賞者一覧

(順不同)

【アントレプレナー部門】

◆グランプリ / 近畿経済産業局長賞

対象事業:ドローンと AI で森林管理の効率化と保全を

会社名:DeepForest Technologies 株式会社

代表者:代表取締役 大西 信徳(オオニシ マサノリ)

URL:<http://www.deepforest-tech.co.jp> E-mail:

masanori_onishi@deepforest-tech.co.jp、TEL:090-5515-6730

会社設立:2022年3月、資本金:3,000千円、従業員数:4人、売上高:—

事業概要:近年、森林を炭素吸収源という新たな価値で評価することが進んでいる。しかし現実では炭素吸収量の推定には多大な調査コストがかかり、衛星などを使った手法の精度の低さ、透明性などの課題が指摘されている。弊社は新たな観測システムとしてドローンから森林の状況・価値を各樹木レベルで把握可能なソフトを開発し、透明性が高く低コストな手法として世界の森林管理の効率化と保全を推進していく。



◆部門賞

対象事業:思春期から更年期まで女性の心身に寄り添う

会社名:Flora株式会社

代表者:代表取締役 クレシェンコ アンナ(クレシェンコ アンナ)

URL:<https://www.flora-tech.jp/> E-mail: office@flora-tech.jp

TEL:080-8736-3548 会社設立:2020年12月、資本金:22,183千円

従業員数:10人、売上高:188千円

事業概要:Flora 株式会社は、日本初となる独自の AI/ML でビッグデータを用

いて女性一人ひとりに合ったココロやカラダに寄り添うケアアプリを提供してい

く。従来の女性向けのヘルスケアとは異なり、ジェンダーバイアスが一切なく、自分の心と体に真摯に向き合えるコンテンツやデザインにしている。また、テクノロジーでは大阪大学の生体信号解析研究の教授、コンテンツには医療関係者の監修を受けて、21世紀の新しいヘルスケアを展開していく。



◆部門賞

対象事業:建設現場の建機管理を DX する Arch

会社名:株式会社 Arch

代表者:代表取締役 松枝 直(マツエダ タダシ)

URL: <https://www.arch-dx.co.jp>

E-mail: taishi.kitayama@arch-dx.com TEL:080-6102-4545

会社設立:2021年9月、資本金:27,975千円、従業員数:8人、売上高:—

事業概要:今や工事現場で使用される建設機械のほとんどがレンタル品の時代。

一つの現場で数千から数万点にもなる建設機械は今なおアナログな方法で管理されている。これを全てデジタル化するのが「Arch」である。「Arch」は着工から竣工までトータルでサポートする3つの機能で構成される。

①手間の掛かる発注先選定業務には「一括見積」機能。②電話での口頭注文に起因するトラブルには「オンライン自動発注」機能。③紙の帳票による現場内の管理には「在庫管理」機能。「Arch」は建設会社のみならず、レンタル会社にもメリットのある Win-Win なサービスである。



◆部門賞

対象事業:人生 100 年時代に対応する口腔ケア

会 社 名:クルン株式会社

代 表 者:代表取締役 林 伸彦(ハヤシ ノブヒコ)

URL:<http://kurun.co.jp> E-mail:nobuhiko@kurun.co.jp、TEL:
06-6584-3234

会社設立:2010 年 11 月、資本金:1,000 千円、従業員数:7 人、売上高:37,332 千円

事業概要:「ゴシゴシ」から「クルクル」へ～人生 100 年時代に対応する口腔ケア～

今までの歯みがきの概念を覆す、口腔ケアのパラダイムシフト。現在普及している、ゴシゴシ 擦る歯ブラシが 3 分程度で歯垢を取り切ることが困難であり、明らかに性能不足。寿命まで全ての歯を健康な状態で維持できる社会を作るための歯ブラシを全世界に広めていく。これからは、擦って歯垢を取るのではなく、「転がして毛先に歯垢を付着させる」が標準に。



◆部門賞

対象事業:to B 向け地域連携支援プラットフォーム

会 社 名:株式会社IKETEL

代 表 者:代表取締役 松本 栄祐(マツモト エイスケ)

URL:<https://www.iketel.co.jp/>

E-mail: eisuke.matsumoto@iketel.co.jp TEL:06-7178-1314

会社設立:2019 年 9 月、資本金:5,000 千円、従業員数:1 人、

売上高:1,051 千円

事業概要:昨今様々な地域課題があるが、それらを解決するためには、地域内外の繋がりや共創をつくっていくことが必要である。実際に、地方へ関心を持つ事業者は年々増加しているが、具体的な連携事業を創出するまでには多くの課題がある。私たちは、「地方(他地域)に関心を持つ事業者と地域のキープレイヤーを繋いで地域内外の連携を支援するWebのプラットフォーム」を開発・提供し、地域の活性化、社会問題の解決に取り組んでいる。



◆部門賞

対象事業:働きたくても働けない潜在看護師のためのキャリア支援サービス

会 社 名:株式会社NURSY

代 表 者:代表取締役 福岡 厚志(フクオカ アツシ)

URL:<https://nursy.co.jp/> E-mail: contact@nursy.co.jp

TEL:090-6240-2690 会社設立:2021 年 12 月

資本金:10,000 千円、従業員数:5 人、売上高:—

事業概要:看護職として長く働きたい看護師の生涯サポート。現役の看護師(主に一般病院勤務)が看護師業を離職することを防止するために、市場が急拡大している美容領域(美容整形など)への転職支援。加えて、結婚や出産を機に離職する潜在看護師が現在 70 万人(看護資格保有者の 30%程度)存在しているが、85%は復職を希望するも、夜勤が難しいなどの勤務体系、ブランクによる知識不足などによる不安などで、復職に一步踏み出せない潜在看護師が多い実情がある。そこで、現在の転職支援に加えて、看護師の転職・復職支援の強化に向けて、スキルアップや転職意向を高める無料のオンラインスクール、看護師特化のダイレクトリクルーティングのソリューションに取り組むことで、看護師の就業数に貢献する。



【ビジネスプラン部門】

◆最優秀賞

対象事業: AI made by AI~誰もがAIを使える世界へ~

チーム名: MOUantAI

氏名: 太田 晶景(オオタ ショウケイ) 他4名 立命館大学 2回生

E-mail: ba1016px@ed.ritsumeai.ac.jp

事業概要: 我々の野望は「世界の AI 格差をなくす!」である。現状 AI 画像認識技術を導入・運用するためには、十分な資金が必要である。これは高価なデバイスと慢性的に不足している AI 専門人材によって導入・運用をする必要があることが要因となっている。研究開発チームリーダー、立命館大学工学部准教授 孟林が開発した 1/10 圧縮技術と AI モデル自動生成技術(2022 年 12 月完成予定)を合わせることで、資金に余裕がない企業(中小企業など含む全事業者)に対し、AI 画像認識技術を提供する。ビジネスモデルは AI 搭載機器の開発販売。メーカーと共同で開発し、我々は主に機器に搭載する AI の構築を担当する。依頼主より資料のもととなる画像提供を受け、それを元に AI モデルを自動生成し、出来上がった AI モデルをメーカーが製作したハードウェアに搭載し、販売する。AI 画像認識技術を欲するすべての人が、それを手に入れることのできる「AI 格差」の無い社会を実現する。



◆部門賞

対象事業: 引きこもりからプログラマーへのステップアップスクール
「FUN STEP SCHOOL」

チーム名: 合同会社IPEL

氏名: 本窪田 智子(モトクボタ トモコ)

E-mail: motokubota@ipel.co.jp

事業概要: 引きこもり、不登校など社会で人と関わるのが苦手、発達障害や精神障害があるなど、企業で働くのが難しい方が IT 技術を身に付け、社会人として自立するためのスクールである。様々な学びを通じて、人と関わることへの恐怖を取り除き、お仕事の喜びと、生きることの「楽しさ」を知り、自分への「自信」を取り戻すサポートを行っている。



【U-19 部門】

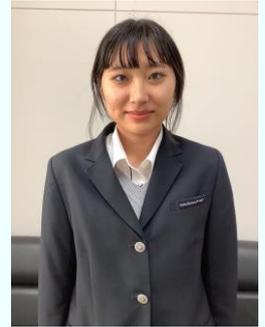
◆グランプリ

対象事業:はあくくん

学 校 名:大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校

代 表 者:橋本 莉彩 (ハシモト リサ)

事業概要:幼稚園生、小学生低学年が腕時計のように、腕につける GPS。親のスマホと繋げて、見たい時に子供の位置情報がわかる。また、定期的に体温を計り、熱があれば親のスマホに通知が行く。通知の行く体温は設定できる。子供の置き去りがなくなるにはどうしたらいいかと考え、いつでも居場所を把握できるGPSアプリを発案した。



◆準グランプリ

対象企業:「DEF shoes」

～誰もが多様に履き続け廃棄の少ないランニングシューズを～

学 校 名:神戸星城高等学校

代 表 者:辰己 涼介 (タツミ キョウスケ)

事業概要:私のプランはシューズをアッパーとソール別々にできるものを製造し販売をするランニングシューズ業である。現状、世界では年間 200 億足ものシューズがつくれ、同じだけどんどん捨てられている。リサイクルを促すためにデポジット制度を取り入れて各スポーツ用品店でソールを回収してリサイクルを促すことで社会貢献をしていき、シューズの廃棄量を減らしていく。このビジネスプランはすべての人々が最低限の出費と廃棄で色々な楽しみ方ができるようにする事ができる。



◆部門賞

対象事業:自転車用ウィンカー ウィン子

学 校 名:大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校

代 表 者:濱坂 綾音 (ハマサカ アヤネ)

事業概要:自動車を想像してみしてほしい。必ず前方には”ヘッドライト”、後方には”テールランプ”がつけられている。これらは、夜間やトンネルなどの視界が悪い状況でも安全に走行したり、右左折する時にその方向を示す為を使用され、運転手の視界を確保することはもちろん、周囲の車や歩行者に自分の車の存在を知らせる役割を担っている。その機能を部品化し、自転車にも取り付けすることで急な停車や方向転換による事故を防ぐ安全グッズとして販売する。



◆部門賞

対象事業:キャンクリーンシート

学 校 名:大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校

代 表 者:西田 恵利花 (ニシダ エリカ)

事業概要:このビジネスプランは、食器用洗剤をフィルム状にしたモノで、対象はキャンパーである。キャンパーをターゲットにした理由は、キャンプ場ではシンクは設置されているところがほとんどだが、洗剤はおいておらず各自で持参しなくてはならない。しかもキャンプ場では近年では合成洗剤を使わないように働きかけていることもありこのキャンクリーンシートは界面活性剤の含有量を少なくしたものとする。現在キャンプで主に使われている洗剤のタイプは、液体、個体、スプレータイプの三種類である。どれも持ち運ぶには、幅や重さを有し、液体、スプレータイプは漏れ出る危険もある。このシートタイプの食器用洗剤は、水に濡れない限り安心である。



◆部門賞

対象事業:ガバポ(garbage power)～生ゴミで作る循環型社会～

学 校 名:神戸星城高等学校

代 表 者:今村 光里 (イマムラ ヒカリ)

事業概要:食料廃棄物、野菜の皮などの生ゴミを回収し、堆肥にし、その堆肥の熱で発電する。また、堆肥の販売も行う。この事業の仕組みは、地域のゴミステーションの横に生ゴミ回収ボックスを設置し、回収し、設置型コンポスト容器を使って堆肥を作る。堆肥は発酵することにより熱を放出するため、その熱を温度差熱発電の動力源として使い、発電する。このエネルギーによって循環型のエネルギー消費システムを実現し、資源枯渇問題に取り組む。



◆部門賞

対象事業: 日本一周鉄道すごろく

学 校 名: 大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校

代 表 者:南元 太己 (ミナモト タイキ)

事業概要:日本全国に9909ある駅をすごろくのマスに見立て、リアル「桃太郎電鉄」を体験できるスマートフォン向けアプリ。拡張現実(AR)やGPSを使用し、駅の駅名標をスマートフォンのカメラで読み込むと利用できるポイントが付与されたり、逆に減らされてしまったり、駅の名物・地域の特産品が獲得できる。鉄道会社、沿線自治体や企業とも協力し、町おこしや鉄道の利用促進になる。一人モードと、利用者と通信できるオンラインモードを設定し、人々の繋がりも作る。その土地にゆかりのある歴史人物が登場したり、飽きさせない工夫を施す。鉄道好きだけでなく、コレクターや、旅好き、よく電車を利用する方など多くの方に遊んでもらえるアプリである。



◆部門賞

対象事業:電子御朱印帳

学 校 名:大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校

代 表 者:井上 知穂(イノウエ チホ)

事業概要:御朱印帳を持ち歩かずにスマホで QR コードを読み取るとアプリの御朱印帳に御朱印がつく。もらった御朱印をタップすると御朱印の絵が動く。自分だけの御朱印帳をつくり、御朱印をもらった神社の由来など漫画で分かりやすく知ることができる。



◆部門賞

対象事業:傘から滴る水を避ける

学 校 名:大阪府立四條畷高等学校

チーム名:雨のち快晴

代 表 者:平谷 琉楠 (ヒラヤ コナン) 他4名

事業概要:傘の先端を曲げて、雨を受け皿でキャッチし、一部分から一気に水が流れるようにすることで、傘から滴る雨水が体や手荷物にかかることを防ぐ。老若男女、幅広い世代をターゲットとし、店舗やオンラインショップで販売する。

